

日向コミュニティ振興会について

- (1) 推薦地区名称 「日向コミュニティ振興会」(酒田市)
(2) 代表者 「会長：小松幸雄(こまつさちお)」(日向地区蕎麦屋店主)
(3) 地区概要

日向コミュニティ振興会は、少子化に伴う小学校の閉校と、公民館のコミュニティセンター(以下コミセン)への移行という市の政策が重なったことにより、地区内12の自治会からなる地域活動組織として発足された。地域の農業法人や企業と連携しながら、住民の「居場所づくり」や地域の課題を地域住民自らが解決する取組を行っている。

(4) 主な取組み

① 農業生産の取組

地域の農業法人(和農日向)から土づくり指導を受けている移住者に対し、地域伝統野菜研究会への入会案内を行うなど、地域の案内役になっている。また、令和4年にはお米づくりのお手伝いワークショップを開催するなど、農作業を通して「中山間地域における農業」への理解を広げる取組を行っている。



【日向里かふえスタッフと大学生】

② 人が集う場所づくり

コミセン内のカフェ「日向里(にっこり)かふえ」では、地域のお母さん達、大学生、地区の飲食店等の幅広い年代が活躍できる場を作り、産直・手作り雑貨コーナーでの農産物や加工品・住民の作品販売などを行っている。

また、店舗までは足を運びにくい中山間地の住民へは、企業(無印良品)の移動販売の取組と連携し、暮らしの安心と楽しさを届ける取組を行っている。



【日向コミュニティセンターと移動販売車】

③ 除雪ボランティア

地域住民だけでは十分な除雪作業をすることが困難な状況であるため、除雪ボランティアの取組を平成24年度から行っている。

④ ふれあい給食

年6回、高齢者世帯への弁当の配食を行っている。高齢者への声掛け・見守り活動も兼ねており、高齢者の日常生活を支える仕組みとなっている。



【日向ささえあい除雪ボランティア】